



解脱会太陽精神碑

# かけはし

## 第47回 解脱選抜少年剣道錬成大会 盛大に開催!



11月10日(日)に解脱会主催による恒例の第47回解脱選抜少年剣道錬成大会(後援・北本市、北本市教育委員会、埼玉県剣道連盟、埼玉県剣道道場連盟、埼玉新聞社)が北本市長三宮幸雄様、埼玉県剣道連盟栗原憲一副会長、埼玉県剣道道場連盟神山芳男会長他、市関係者並びに埼玉県剣道連盟の先生方を始め、多くのご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。今年は特に過去最多となる92チーム(錬心館4チームを含む)が参加し、金剛杯・市長杯を目指して緊迫した熱戦が展開されました。試合はトーナメント試合とし、県内同志で戦って勝ち上がったチームが県外の強豪道場に挑むという試合内容で、関東規模の大会にして17回を数えますが、当初、県内チームが県外の強豪道場と対戦すると圧倒的大差で負けていたのが嘘のように、どの会場も接戦に次ぐ接戦で、見事県外チームに勝利する道場も見られ、埼玉県少年剣道のレベル向上がはっきりと感じられる大会となりました。我が解脱錬心館Aチームは、接戦をものにし勝ち進み決勝戦まで駒を進め、全国屈指の東松館道場との対戦となりました。試合は、手に汗握る攻防が続き先鋒から大将まで引き分けの代表戦、大将同士の再戦となり延長の末、残念ながら準優勝となりました。優勝は東松館道場が5年連続9回目の栄冠を勝ち取りました。錬心館チームとしては、とても悔しい結果に終わりましたが田中館長から「皆、負けて悔しいと思うが今回は特に多くの強豪道場が参加しての大会となり、その中で決勝戦まで勝ち上がったのは日々の努力の賜物です。この悔しさを忘れずに更に努力精進を重ねて行きましょう。」とのご指導を頂き、子供達は今回の経験を活かし、これからも素直に学び更なる成長をしてくれる事と期待しています。又、大会にご出席頂いた来賓の方々からは、試合内容は勿論の事、迎える主催者側の一日を通しての行き届いた対応に対してお褒めの言葉を頂きました。これも偏に大会運営に対しご支援・ご協力を頂きました後援会・OB門下生のお蔭様であり、改めて心よりお礼申し上げます。

### 解脱選抜剣道錬成大会結果

- 優勝 東松館道場 (東京)
- 準優勝 解脱錬心館A (埼玉)
- 3位 五葉館 (栃木)
- 3位 昭島中央剣友会 (東京)
- 敢闘賞 練兵館 (栃木)
- 山梨健心館 (山梨)
- いばらき少年剣友会 (茨城)
- 雄邦館 (東京)

### ★ 解脱錬心館選手 ★

- Aチーム 浅野・岡谷・福永陸・柳 瑠・田中隆・内村・小嶋
- Bチーム 吉田・吉野・宮副・石井夏・大西・福永陸・柳 菜
- Cチーム 大野・沼田・石井律・千木良・大野・田中詩・池田
- Dチーム 野澤・土性純・日置大・竹内・樋口・土性純・荒井



# 行事予定



## 《11月》

### ○ 館の行事

※稽古休み 27日(水) 解脱会受入行事の為

#### 一般部特別稽古会

11月23日(土・祝) 16時～18時

24日(日) 16時～18時

※秋の審査会に向けて頑張りましょう!

### ○ 大会・審査会

24日(日) 第22回彩北少年少女剣道大会(小中代表・熊谷)

26日(火) 六段審査会(八王子)

27日(水) 七段審査会(八王子)

28日(木)・29日(金) 八段審査会(八王子)

30日(土) 第64回埼玉県剣道大会(一般・県立武道館)

### ○ 受入行事

27日(水) 全国支部長会(解脱会)

28日(木) 第139回解脱金剛御生誕祭(解脱会)

## 《12月》

### ○ 館の行事

7日(土) 道場大掃除(9時～11時30分)

14日(土) 稽古納め(全門下生・午前9時～10時30分) ※集合8時45分  
※一年の節目である稽古納めです。  
是非、家族そろって子供達の頑張っている姿を見に来て下さい。

※稽古休み 7日(土) 道場大掃除の為



### ○ 大会・審査会

1日(日) 第29回つくば市少年剣道錬成大会(小中代表・つくば市)

5日(木) 埼剣連月例稽古会(県立武道館)

8日(日) 毎日レディース剣道大会(小中一般女子代表・日野)

15日(日) 第64回羽生市剣道大会(小中代表・羽生)

22日(日) 第37回全国道場対抗剣道大会(小中一般代表・新潟)

22日(日) 全国道場少年剣道選手権大会(小中代表・新潟)

22日(日) 第17回埼玉県剣道大会(小学生代表・県立武道館)



# 主催大会・スナップ特集



## 木刀教室 北本産業まつい・演武 令和元年11月3日



指導 青葉元由紀先生・近藤紘一先生


演武者 小須田今朝人先生・石井宏・三須恵里子・新島陣・小松恵・山森久義・鴨田忠  
萩原由紀子・松本邦雄・山田勝男・石川信行・田島正己・田島京子・小山勝也

### ◎第41回日本剣道少年団研修会・体験作文埼玉県予選小学生の部に於いて竹内日南さん(小6)が1位入賞となり埼玉県代表で関東地区大会出場を決めました。おめでとうございます！

「目配り気配り」から生まれるもの

解脱錬心館 竹内 日南

私は小学二年生の時に、体験教室に参加したことがきっかけで剣道を始めました。週二回の稽古は楽しく、稽古終わりの音読はもっと楽しかったです。なぜなら、いつもは母に聞いてもらう音読の宿題を道場の先生に聞いていただけるということがうれしかったからです。そんな稽古を一年続けると、稽古の日数が増え、錬成会や大会にも出場させてもらえるようになりました。日々の稽古は厳しく「今日は何をするのだろう」と不安との戦いでした。そんな私を日々元気づけてくれ、手助けをしてくれたのは先輩方でした。先輩方は、常に周りを見て行動していました。困っている後輩はいないか、おけている仲間はいないか、といつも私たちは守られ、助けられていました。自分の学年が上がるにつれて、先輩方の行動をまねている自分がいることに気が付きました。これは、錬成会等に参加する際、「常に目配り、気配りの気持ちを忘れずに参加道場の迷惑にならないために協力し合うように」という先生からの教えがあるからだと分かりました。その教えを理解し、先輩方の姿をまね、自らの行動に移せているのだと感じました。私はこの夏、足の皮膚の移植手術をし、三週間の入院をしました。剣道を始めてから、こんな長く稽古を休んだのは初めてでした。入院中は、三週間寝たきりで、術後の痛みなどで剣道の事を考えている余裕はありませんでしたが、退院してからは剣道への不安でいっぱいでした。チームメイトは稽古を積んで上達しているだろうなぁなどと悪いことばかり考えてしまいました。稽古には参加できる状態ではなかったけれど、退院報告に道場へ行きました。先生方は笑顔で迎えて下さいました。先生と一緒に道場に入るときは緊張しましたが、みんなが「おかえり」「退院おめでとう」とかけよって来てくれました。以前と変わらない仲間の姿にほっとし、うれしかったです。それから一週間、私は簡単なトレーニングから稽古に参加しています。足に制限があるので、できることは限られていますが、少しずつ体づくりからしていきたいと思ったからです。稽古終わりに私がトレーニング用具を片付けようとすると、同級生の仲間や後輩がかけよって来て、片付けてくれたのです。私の身体を気づかっての行動だと分かりました。とてもうれしかったし、正直ビックリしました。厳しい稽古をして苦しいはずなのに、私に気づいて進んで助けてくれた仲間感謝の気持ちでいっぱいでした。これは「目配り、気配り」から生まれる「感謝の気持ち」だと改めて実感しました。あれから数日が経ちますが、毎日誰かが手助けをしてくれます。この教えを頂いた先生方に感謝をしながら、早く本格復帰できるように努力し続けたいと思います。尊敬する先生方と思いやりのある仲間と剣道が出来ることに感謝します。

☆昇段おめでとうございます----- 

五段 永野雅大 (OB) 四段 新島 陣 (一般)

☆大会通信

9月

★令和元年度関東警察剣道大会 (東京)

A組団体 優勝 神奈川県警察 田中晃司 (OB)

B組団体 優勝 埼玉県警察 宮原良太・川上拓真 (OB)

★第48回尾島剣道部親善剣道大会 (群馬)



中学男子団体 優勝 池田・内村・荒井・福永・小嶋

中学女子団体 優勝 田中・宮副・友清・大西・柳

小学生団体 優勝 宮副・沼田・石井・日置・千木良

準優勝 石井・岡谷・福永・吉野・柳

10月

★第74回国民体育大会剣道大会 (茨城)

男子成年の部

第4位 神奈川県 先鋒 田中晃司 (OB)

★第4回桜木杯争奪松井剣志会少年剣道錬成大会 (所沢)



小学混成団体 第3位 大野・吉田・浅野・福永・柳

個人 第3位 野澤遼樹 (3年以下の部)

★愛知県道場連盟・近藤杯争奪剣道大会 (愛知)



中学生団体 敢闘賞 池田・友清・荒井・柳・小嶋

★厳心旗争奪第47回総和剣道大会 (茨城)



中学生団体 第3位 池田・友清・荒井・柳・小嶋

★第25回秋季関東医科系女子剣道大会 (東京)

団体 優勝 順天堂大学 泉 朋美 (OB)

編集後記

先日の主催大会では、大勢の方々にご協力を頂きありがとうございました。試合の結果は惜しくも準優勝、悔しい結果となりましたがこの経験を活かし更なる成長が出来る様、子供達と共に頑張ります！(Y)

涙の向こうに

◆今年も早や11月(霜月)を迎えました。ご承知の通り、先月10月22日は即位礼正殿の儀が執り行われ第126代天皇が日本国の内外に即位を宣明されました。第一代の神武天皇以来、連綿として継承されてきた万世一系の皇統が引き継がれて、本年新しき令和の御代を迎えました。心よりお祝い申し上げると共に、改めて日本人としての自覚と誇りをもって更に精進していきたいと願うものです。◆一方、強い台風が連続して上陸し、全国各地に甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方々、被災された皆さんのことを思うとかける言葉もみつかりませんが、一日でも早い復興と、様々な形で私達が出来る精一杯のことをさせて頂きたいと強く願うものであります。◆そのような中、今月3日は恒例の全日本選手権大会が、改修工事で使用できない日本武道館に代わって、大阪市民体育館で開催されました。私も観戦させて頂きましたが、会場は変わっても各都道府県代表選手の戦いは、どの試合も鍛え抜かれた心・技・体を存分に発揮した気迫溢れる熱戦の連続で観る者を魅了しました。そしてその戦いを勝ち抜いて優勝したのは、福岡県代表で29歳の國友錬太郎選手でした。過去に2度決勝戦で敗れて涙を飲み、まさに三度目の正直で掴み取った念願の日本一でした。「信じられないことは信じることから生まれる」二度も大きなチャンスを逃し、辛く苦しい時期もあったことと思いますが、自分を信じ更に稽古を重ねて精進され、遂に自分でも信じられないほどの大きな喜びを手に入れました。その努力に心からの敬意とお祝いを申し上げる次第です。◆そしてその一週間後の11月10日、恒例の解脱選抜少年剣道錬成大会が開催されました。過去最高の92チーム(錬心館4チームを含む)の参加のもとレベルの高い好試合が展開され、その激戦を制して決勝に勝ち上がったのは常勝軍団東松館道場と我が解脱錬心館でした。試合はなんと先鋒から大将まで7人が引き分けて代表戦となり、再び両チームの大将が相対し延長戦の末、東松館道場の優勝が決まり、錬心館にとっては悔しい準優勝となりました。大会終了後も子供達の眼には涙が溢れ、いつまでもその涙が乾くことはありませんでした。しかし、試合に限らず、錬心館での日々の厳しい稽古を通して数えきれないほど流した汗と涙は、自己の心身を鍛え、人格を高め、やがて大きく花を咲かせてくれる為の原動力となるのです。だからこそ、その涙を笑顔に変えて、また明日から、新たな目標に向かって明るく元気に仲良く、そして堂々と歩んで行って欲しいと心から願うものであります。